HRI 株式会社百五総合研究所
2023 年 9 月 27 日

三重県経済の動向（2023 年９月）No. 552

【現在の景気】　持ち直しの動きがみられる　（※６月～８月の指標より（一部除く））

個人消費、設備投資、雇用は持ち直しの動きが続く。生産も半導体不足の緩和等の影響により、一部で持ち直しの動き。

＜当月のポイント＞

・生産指数（７月）は前月比２か月ぶりの低下。電子は低下。輸送機械、化学、生産用機械は上昇。
・常用雇用指数（６月）は前年比 10 か月連続上昇。企業の人手不足感は高水準で推移。
・名目賃金指数（６月）は前年比＋10.1%の大幅上昇。所定内給与は前年比４か月連続の増加。
・百貨店・スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電大型専門店、ホームセンター販売（７月）、乗用車新車販売（８月）は前年比増加。

【当面の見通し】　下振れリスクはあるものの、緩やかに持ち直しに向かう

個人消費は、物価高の影響はあるものの、社会経済活動が正常化に向かう中、持ち直しの動きが続く。生産については、部材供給制約や原材料価格高騰などの影響が徐々に緩和に向かう。海外景気の下振れリスクはあるが、総じて緩やかに持ち直しに向かう見通し。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気（総合判断）	足踏み状態となっている	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	－
１．景気動向指数／企業の景況感	悪化／持ち直しの動きがみられる	悪化／持ち直しの動きがみられる	悪化／持ち直しの動きがみられる	→	2
２．生産	弱含んでいる	一部で持ち直しの動きがみられる	一部で持ち直しの動きがみられる	→	3
３．輸出	弱含んでいる	弱含んでいる	持ち直しの動きがみられる	↗	3
４．設備投資	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	4
５．企業倒産	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	→	4
６．雇用	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	5
７．賃金	足踏み	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	6
８．個人消費	持ち直しの動きがみられる	持ち直している	持ち直している	→	6
９．住宅投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	7
10．公共投資	足踏み	足踏み	足踏み	→	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したもの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。
※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

＜担当＞　HRI 株式会社百五総合研究所
コンサルティング事業部　調査グループ　　谷ノ上、片山　TEL 059-228-9105

１．景気全般

（１）景気動向指数

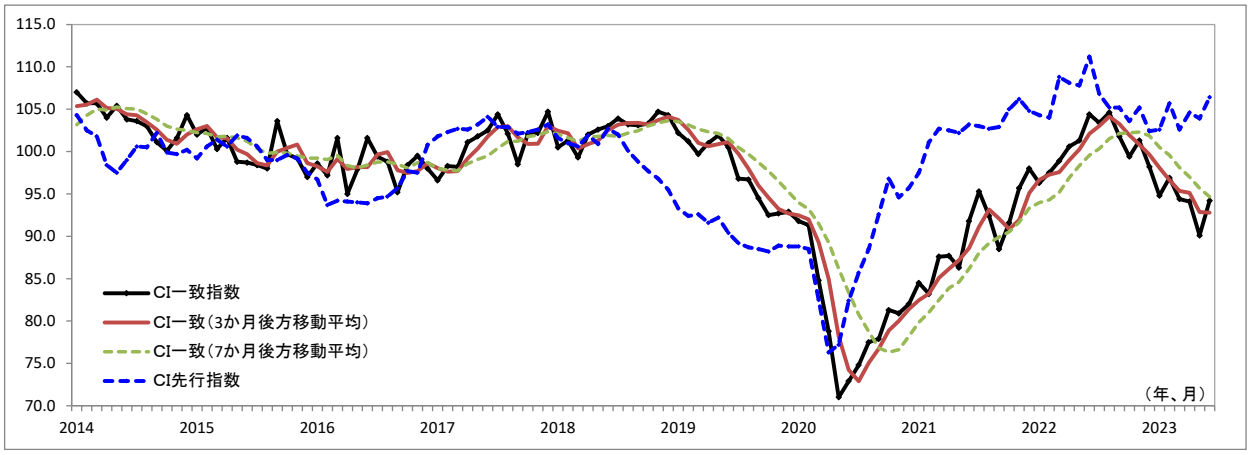
【現状】＜悪化＞

○６月の景気動向指数（ＣＩ）一致指数は、94.2 で前月差＋4.1 ポイント。３か月後方移動平均（△0.07 ポイント）は 10 か月連続の下降、７か月後方移動平均（△1.02 ポイント）は７か月連続の下降となり、「悪化」を示している。

【見通し】

○６月の景気動向指数（ＣＩ）先行指数は、106.4 で前月差＋2.5 ポイント。３か月後方移動平均（＋1.27 ポイント）は２か月ぶりの上昇、７か月後方移動平均（＋0.17 ポイント）は２か月連続の上昇となった。

■景気動向指数（ＣＩ）（2015 年=100）



※上記の「CI を用いた基調判断」は三重県が内閣府の判断基準に準じて行った判断。
※「3 か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7 か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。
資料：三重県「三重県景気動向指数（ＣＩ）」

（２）県内企業の景況感

【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○当社景況調査（半期）では、23 年度上期の業況判断 BSI は△0.7 と、わずかなマイナスもほぼ横ばい。

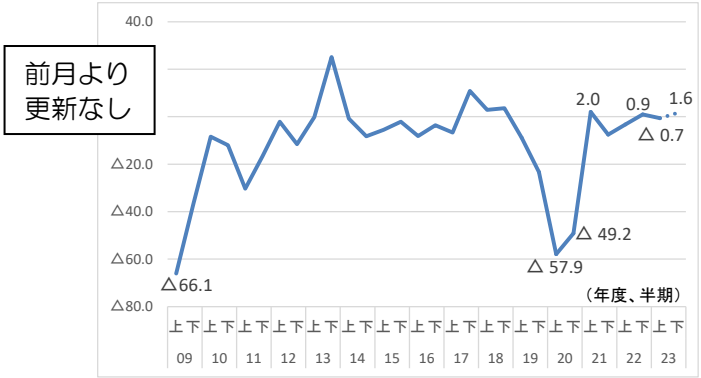
○法人企業景気予測調査（四半期）では、23 年 7-9 月期の景況判断 BSI は△0.9%ポイントの「下降」超で、「下降」超幅は縮小した。

【見通し】

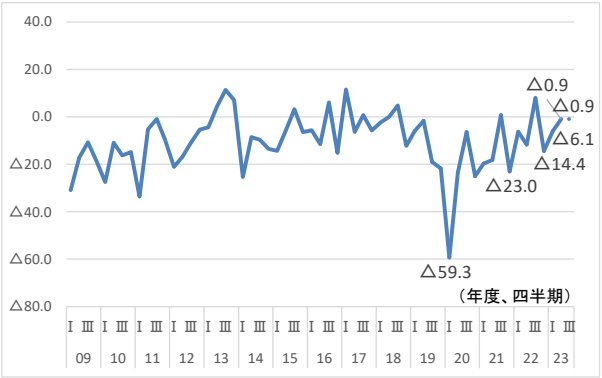
○当社景況調査の 23 年度下期（見通し）の業況判断 BSI は＋1.6 と、ややプラスに転じる見通し。

○法人企業景気予測調査の 23 年 10-12 月期（見通し）の景況判断 BSI は△0.9%ポイントの「下降」超で推移する見通し。

■業況判断ＢＳＩ（当社景況調査、７月実施）



■景況判断ＢＳＩ（法人企業景気予測調査、８月時点）



資料：当社「景況調査」（23 年７月、450 社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（23 年８月、115 社）

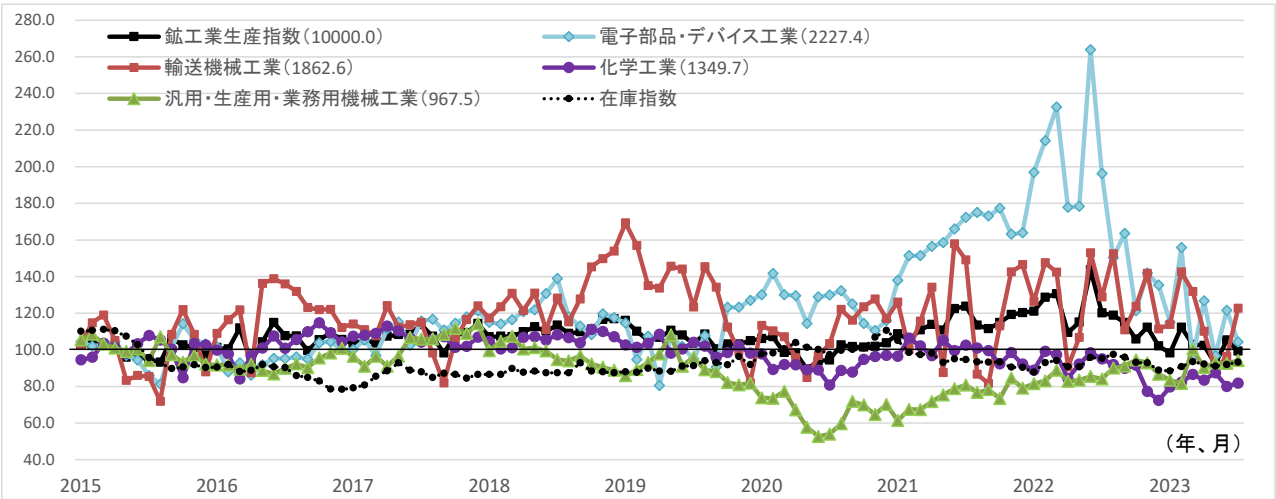
２．生産

【現状】＜一部で持ち直しの動きがみられる＞

○７月の鉱工業生産指数（季調済）は 99.3 で、前月比△5.7%と２か月ぶりの低下、原数値は 100.7 で前年比△17.3%と 10 か月連続の低下となった。

○生産指数を業種別にみると、電子部品・デバイスは、前年比は△46.8%と 12 か月連続で低下し、前月比も２か月ぶりに低下した。輸送機械は、前年比３か月連続の低下となったが、前月比は＋27.4%と２か月連続で上昇した。汎用・生産用・業務用機械は、前年比５か月連続の上昇、前月比でも２か月ぶりに上昇した。化学は、前年比低下も前月比は２か月ぶりに上昇した。輸送機械では、ホンダ鈴鹿製作所の稼働率が、２月は約９割、３～９月（見込み）は通常稼働で推移。当社景況調査（7月実施）では、半導体不足の緩和等で自動車関連生産が持ち直し傾向。電子部品・デバイスでは、キオクシアが、需要減により、昨年 10 月から当面の間フラッシュメモリの生産を調整。

■鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2015 年=100）



※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

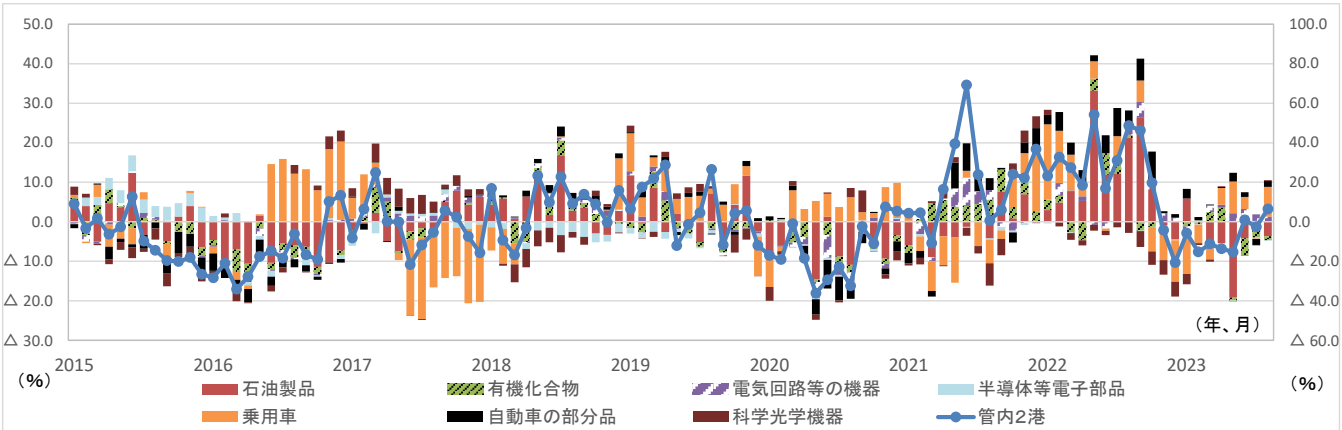
３．輸出

【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

○８月の県内２港（四日市港（尾鷲通関分含む）＋津港）の通関輸出額（速報）は、前年比＋6.4%と２か月ぶりの増加、主要港である四日市港は＋4.7%と 10 か月ぶりの増加となった。

○四日市港の輸出主要品別にみると、映像機器、石油製品、有機化合物、プラスチックなどが減少したものの、乗用車、自動車の部分品、電気回路等の機器、科学光学機器などが増加に寄与した。

■通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



※折れ線グラフは県内２港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4．設備投資

【現状】＜持ち直している＞

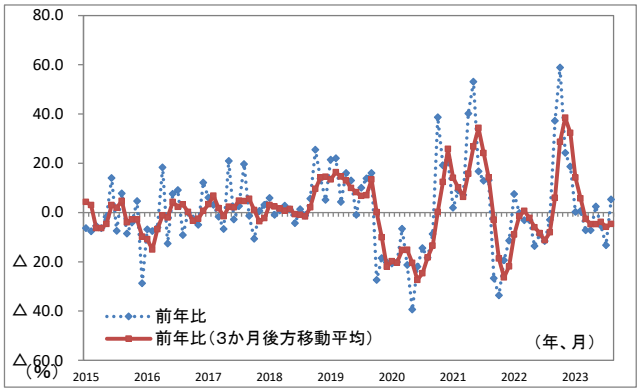
○８月の貨物車新車登録･販売台数（普通＋小型＋軽）は前年比＋5.3%となり、３か月ぶりの増加となった。普通貨物（＋30.1%）は４か月連続の増加、小型貨物（＋24.8%）は６か月ぶりの増加となったが、軽貨物（△5.3%）は３か月連続の減少となった。

○７月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比△63.5%と３か月ぶりの減少となった。

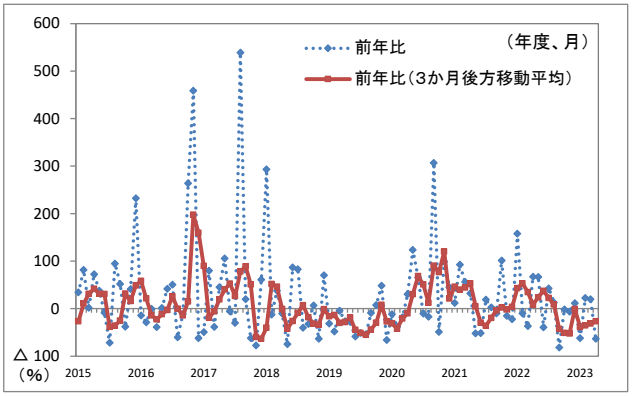
○６月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比２か月ぶりの低下となった。

○当社景況調査（７月実施）では、23 年度上期の設備投資実施(見込み)企業割合は 46.4%と、コロナ感染拡大前の 19 年度下期（44.7%）を３期連続で上回った。法人企業景気予測調査（８月実施）では、23 年度投資額は前年度比＋52.1%の増加見込み。

■貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比）

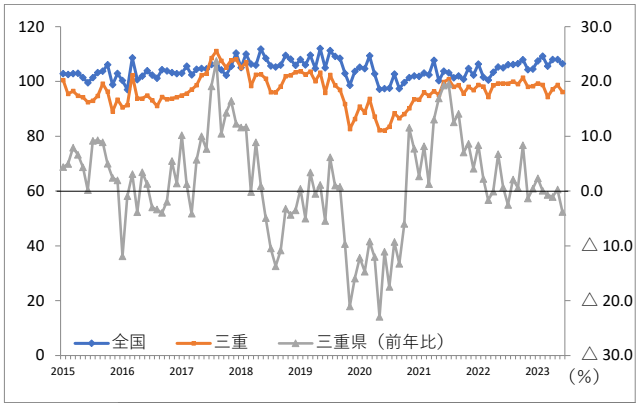


■民間非居住用建築物着工床面積（前年比）

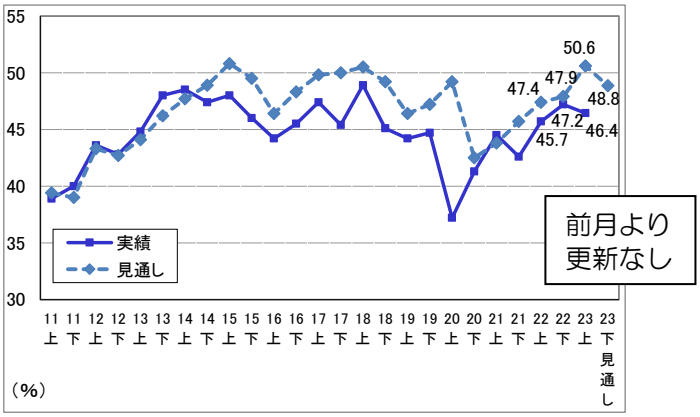


※資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会／国土交通省「建築物着工統計」

■地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値）



■設備投資実施企業の割合（当社景況調査）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。
※資料：内閣府「地域別支出総合指数」／当社「景況調査」（投資額 500 万円以上）

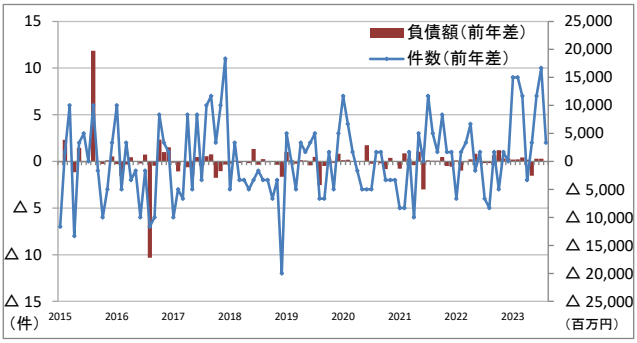
5．企業倒産

【現状】＜増加の動きがみられる＞

○８月の企業倒産件数は４件（前年差＋２件）、負債額は１億 50 百万円（前年差△１億 27 百万円）となった。23 年１月からの累計では、件数は８か月連続の増加、負債額は２か月連続の増加となった。

※負債額 1,000 万円以上　資料：㈱東京商工リサーチ

■企業倒産件数・負債額（前年増減差）



６．雇用

【現状】＜持ち直している＞

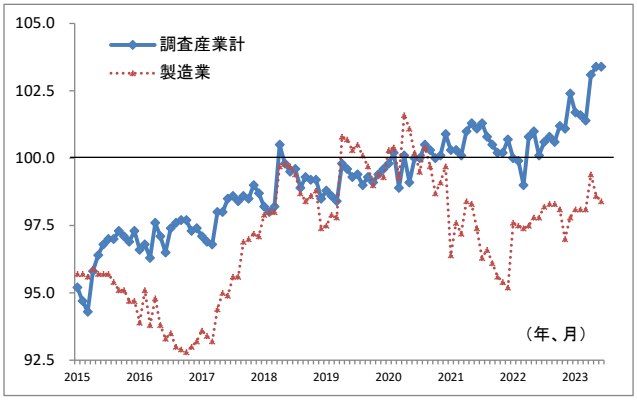
○６月の常用雇用指数は 103.4 で、前年比＋3.3%となり、10 か月連続の上昇となった。製造業は 98.4 で前年比＋0.6%となり、13 か月連続の上昇となった。

○７月の有効求人倍率（季調済）は 1.27 倍で、前月比△0.02 ポイントとなり、２か月連続で全国を下回った。有効求人数（原数値）は前年比△6.1%で５か月連続の減少、有効求職者数（原数値）は＋3.9%で２か月連続の増加となった。

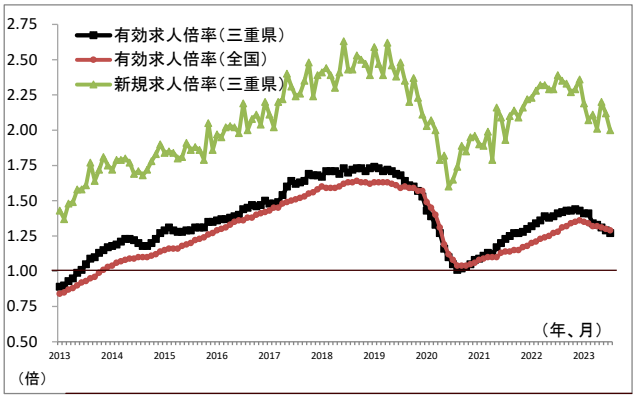
○７月の新規求人数（原数値）を産業別にみると、卸売業,小売業は前年比４か月ぶりの増加、運輸業,郵便業は３か月ぶりの増加となったが、製造業は５か月連続の減少、サービス業（他に分類されないもの）は７か月連続の減少、医療,福祉は２か月ぶりの減少、宿泊業,飲食サービス業と建設業は２か月連続の減少となった。

○当社景況調査（7月実施）では、人員の過不足感は＋49.6 と、コロナ禍前（20 年１月）を超える「不足」超となった。不足感は、食料品製造のほか、特に建設、運輸･倉庫、観光･宿泊、小売などの非製造業で強く、23 年度中に人員を「増やしたい」企業は、非製造業で 53.8%と前期（23 年１月）に続き５割を超えた。法人企業景気予測調査（８月実施）でも、「不足気味」超幅が拡大。

■常用雇用指数（2020 年=100）

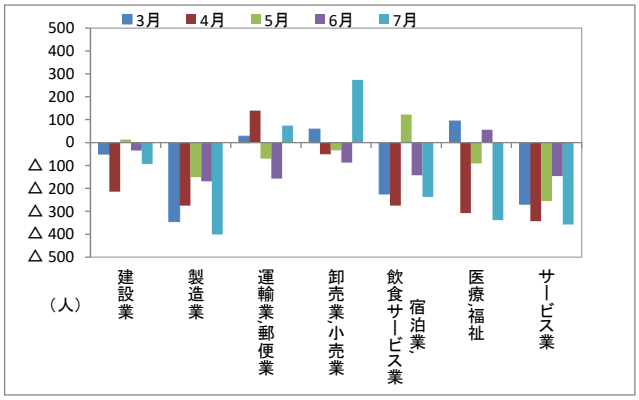


■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）

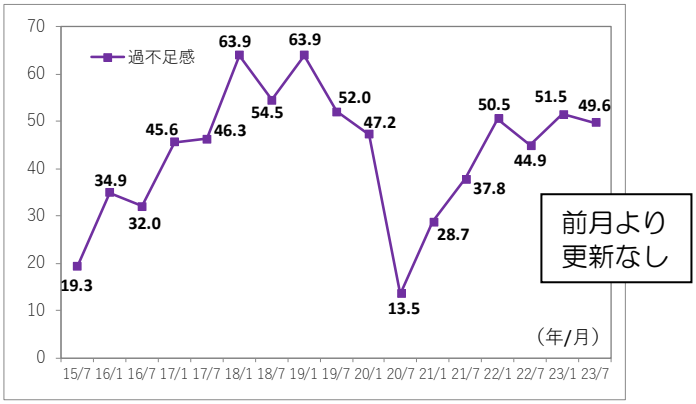


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員＋パートタイム労働者）を指数化したもの
※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。
資料：三重県「毎月勤労統計調査」、三重労働局「一般職業紹介状況」

■新規求人数（主要産業別）（原数値、前年増減差）



■人員の過不足感（不足割合－過剰割合）



※新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。
※サービス業は他に分類されないもの
※人員の過不足感＝（「不足」＋「やや不足」の割合）－（「過剰」＋「やや過剰」の割合）
資料：三重労働局「一般職業紹介状況」、当社「景況調査」（1 月、7 月、５月（簡易調査））

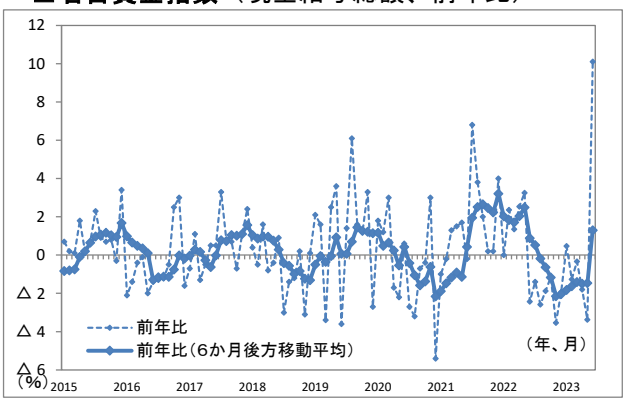
7．賃金

【現状】＜持ち直しの動きがみられる＞

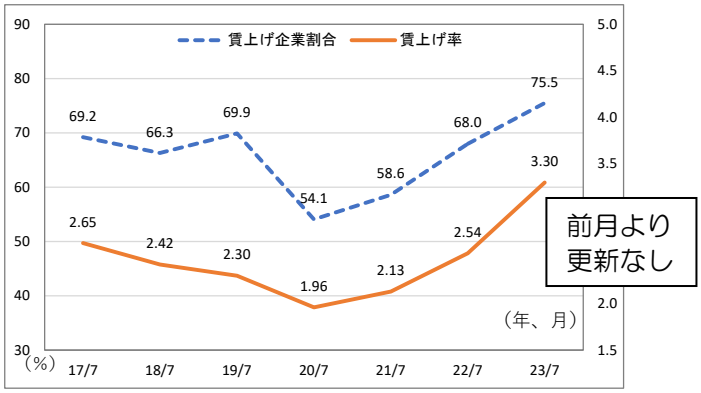
○６月の名目賃金指数（現金給与総額）は、前年比＋10.1%と５か月ぶりの上昇となり、うち所定内給与（実額）は４か月連続で前年比増加した。

○当社景況調査（7月実施）では、23 年４月以降に賃金を「引き上げた」は 75.5%と、前年を 7.5 ポイント上回った。賃上げ率は回答平均で 3.30%と、17 年の調査開始以降で初めて３%を超えた。

■名目賃金指数（現金給与総額、前年比）



■賃上げ企業割合・賃上げ率（７月時点）



※事業所規模５人以上、2020 年＝100。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。
※賃上げ企業割合は、当年４月以降に、賞与等を含む賃金を引き上げた企業の割合。賃上げ率は改定前比。
資料：三重県「毎月勤労統計調査」、当社「景況調査」（各年７月実施分）

8．個人消費

【現状】＜持ち直している＞

○７月の百貨店・スーパー販売額は、全店（前年比＋3.6%）は４か月連続の増加、既存店（＋2.1%）も４か月連続の増加となった。

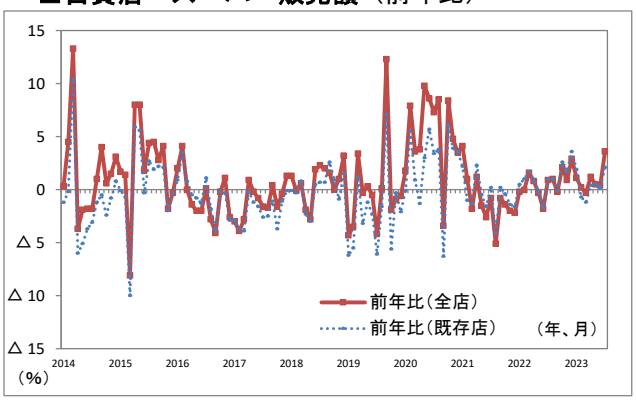
○７月のコンビニエンスストア販売額（＋3.7%）は前年比 12 か月連続の増加、家電大型専門店販売額（＋0.7%）は５か月ぶりの増加、ドラッグストア販売額（＋13.3%）は 26 か月連続の増加、ホームセンター販売額（＋4.6%）は３か月ぶりの増加となった。

○８月の乗用車新車登録･販売台数（普通＋小型＋軽）（＋18.5%）は前年比 12 か月連続の増加となった。普通（＋31.3%）は８か月連続の増加、小型（＋4.6%）は２か月ぶりの増加となったが、軽（＋14.3%）は２か月ぶりの増加となった。

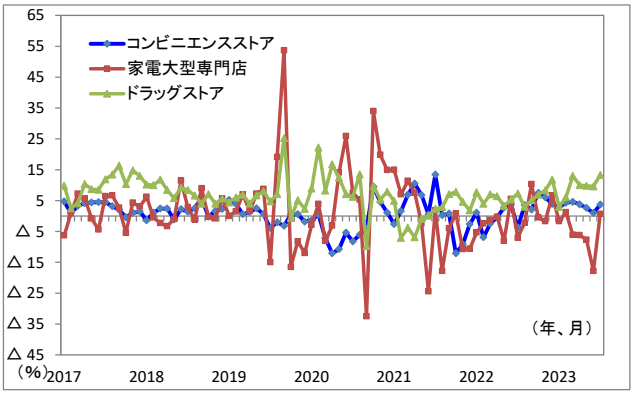
○７月の家計消費支出（津市・勤労者世帯）（△13.2%）は前年比２か月ぶりの減少となった。

○８月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、津市）は、前年比は＋2.2%と 19 か月連続の上昇も上昇幅は縮小し、前月比では横ばいとなった。

■百貨店・スーパー販売額（前年比）

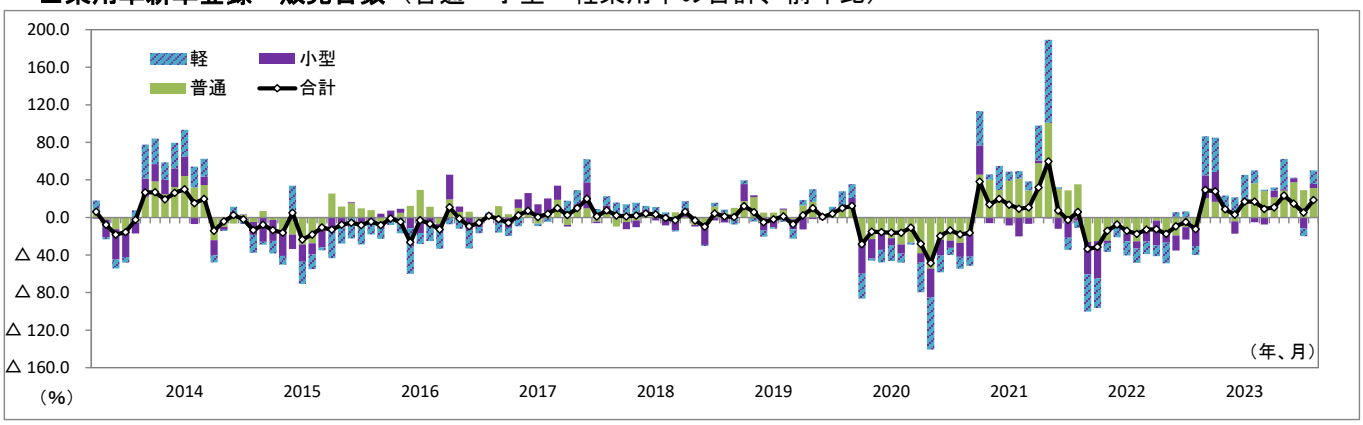


■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



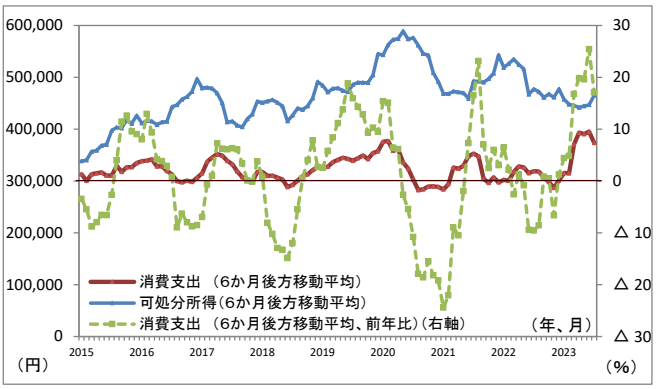
※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動(開店、廃業)があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。　資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）

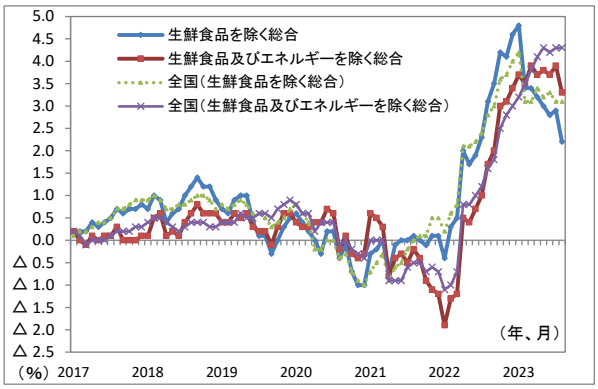


資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国）



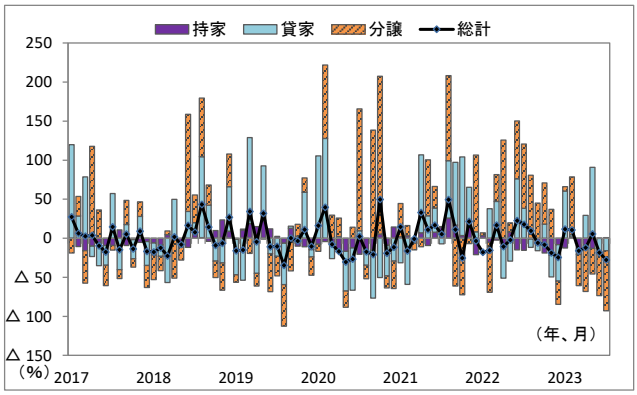
※消費支出・可処分所得は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の１世帯あたりの月平均。
※津市の調査結果は、標本世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意。
資料：三重県・総務省統計局「家計調査」、総務省「消費者物価指数」

９．住宅投資

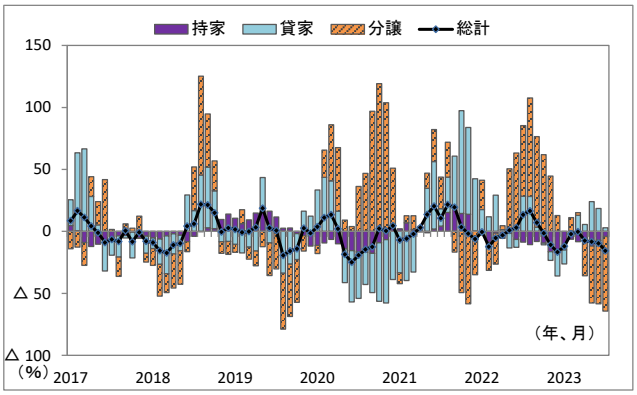
【現状】＜足踏み＞

○７月の新設住宅着工戸数は、前年比△27.8%で２か月連続の減少、３か月後方移動平均では 10 か月連続の減少となった。持家（＋0.8%）は前年比５か月ぶりの増加となったが、貸家（△16.1%）は２か月連続の減少、分譲（△76.9%）は５か月連続の減少となった。床面積（△27.0%）は５か月連続の減少となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（３か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

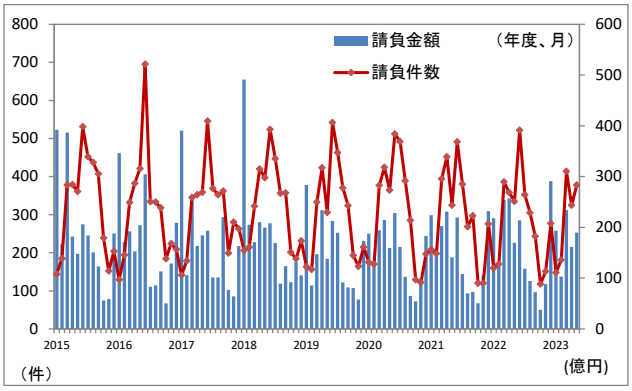
10. 公共投資

【現状】＜足踏み＞

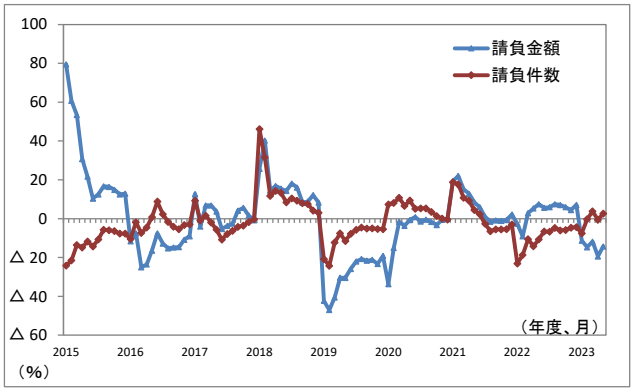
○８月の公共工事請負件数は前年比＋12.8%の増加、請負金額は＋11.9%の増加となった。請負金額は年度累計（23 年４月～８月）では５か月連続の減少となった。

○年度累計の請負金額について、発注者別にみると、国土交通省（＋10.0%）、県農林水産部（＋12.7%）、社会福祉法人（＋504.1%）などは増加したが、中日本高速道路㈱（△34.8%）、港管理組合（△79.9%）、市（△10.7%）、県企業庁（△40.8%）などが減少した。工事場所別では、いなべ市、亀山市、大台町などは増加したが、津市、四日市市、桑名市などでは減少した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額（年度累計・前年比）



※前払金保証取扱高（工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの）
※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他
資料：東日本建設業保証㈱

＜トピックス＞

◆ 鳥羽旅館組合は９月１日～10 月 31 日の期間、㈱サンリオ（東京）のキャラクターユニット「はぴだんぶい」とコラボした宿泊プランを展開。複数の宿泊施設が加盟する旅館組合とサンリオのコラボは国内初の取り組み。対象の宿泊プラン利用者には、限定コラボグッズを配付する。

◆ 三重県は９月９日、今年の夏休み期間中の主要観光施設（23 施設）の観光入込客数を発表。7/15～8/31 の 48 日間で延べ 518 万人、１日あたりでは延べ 10.8 万人となった。比較可能な 20 施設における１日あたりの入込客数は、2022 年比で＋5.3%（2019 年比△15.9%）となった。

◆ イオンリテール㈱（千葉）は９月 15 日、鈴鹿市白子駅前に「そよら鈴鹿白子」を 2024 年春に出店すると発表。「そよら」は、コンパクトなワンストップショッピングを提供するイオンの新しい小商圏の都市型ショッピングセンターで、三重県内では初出店。出店地は 2021 年２月に一時休業した「白子ショッピングタウンサンズ」跡地。施設は地上２階建て、延床面積約 11,379 ㎡。

◆ 三重県は９月 16 日、開設 10 周年を迎える首都圏営業拠点「三重テラス」をリニューアルオープン。旬の県産食材を取り入れた料理の提供や、コワーキング機能の設置、観光コンシェルジュやコミュニティマネージャーの常駐などの新たな機能やサービスを展開することで、三重の魅力をより効果的に発信し、首都圏からの誘客や県産品の販路拡大、首都圏と三重県の様々な関係者の交流を促進する狙い。

◆ 三重県は９月 20 日、令和５年三重県地価調査結果を発表。７月１日現在の住宅地の基準地価の対前年平均変動率は△0.5%（前年△1.0%）で 31 年連続の下落となったが、上昇地点は前年の 32 地点から 56 地点に増加。商業地の対前年平均変動率は△0.1%（同△0.8%）で 32 年連続の下落となったが、上昇地点は前年の９地点から 34 地点に増加。住宅地、商業地とも下落幅は縮小した。

三重県主要経済指標

	景気動向指数ＣＩ（先行）(2015年=100)		景気動向指数ＣＩ（一致）(2015年=100)		業況判断BSI（年度半期）			景況判断BSI（年度四半期）	鉱工業生産指数 (2015年=100)		鉱工業在庫指数 (2015年=100)	
		前月差		前月差		製造業	非製造業		*1 *2	前月比	*1 *2	前月比
2020年	—	—	—	—					100.0	△ 6.2	101.4	11.6
2021年	—	—	—	—					114.8	14.9	95.3	△ 6.1
2022年	—	—	—	—					118.5	3.2	92.9	△ 2.5
21年11月	106.2	1.2	95.7	4.1				0.8	119.2	3.7	90.5	△ 3.1
12月	104.8	△ 1.4	98.0	2.3	△ 7.5	2.6	△ 13.2		120.3	0.9	90.4	△ 0.1
22年１月	104.3	△ 0.5	96.3	△ 1.7					121.1	0.7	87.8	△ 2.9
２月	104.0	△ 0.3	97.5	1.2				△ 23.0	128.6	6.2	93.0	5.9
３月	108.8	4.8	98.9	1.4					130.6	1.6	94.2	1.3
４月	108.1	△ 0.7	100.6	1.7					109.4	△ 16.2	90.8	△ 3.6
５月	107.8	△ 0.3	101.3	0.7				△ 6.2	115.1	5.2	90.7	△ 0.1
６月	111.2	3.4	104.4	3.1	△ 3.3	△ 12.9	2.7		143.7	24.8	95.8	5.6
７月	106.8	△ 4.4	103.4	△ 1.0					120.1	△ 16.4	95.3	△ 0.5
８月	105.2	△ 1.6	104.6	1.2				△ 11.7	118.9	△ 1.0	97.5	2.3
９月	105.2	0.0	101.8	△ 2.8					114.9	△ 3.4	95.9	△ 1.6
10月	103.6	△ 1.6	99.4	△ 2.4					105.9	△ 7.8	93.1	△ 2.9
11月	105.2	1.6	101.3	1.9				8.0	112.3	6.0	92.9	△ 0.2
12月	102.4	△ 2.8	98.2	△ 3.1	0.9	△ 7.7	7.4		102.1	△ 9.1	88.8	△ 4.4
23年１月	102.6	0.2	94.8	△ 3.4					98.3	△ 3.7	88.5	△ 0.3
２月	105.7	3.1	96.9	2.1				△ 14.4	112.3	14.2	90.8	2.6
３月	102.6	△ 3.1	r 94.4	△ 2.5					102.9	△ 8.4	93.5	3.0
４月	104.6	2.0	94.1	△ 0.3					102.4	△ 0.5	92.2	△ 1.4
５月	103.9	△ 0.7	r 90.1	△ 4.0				△ 6.1	92.3	△ 9.9	91.1	△ 1.2
６月	106.4	2.5	94.2	4.1	△ 0.7	△ 2.3	2.4		105.3	14.1	92.0	1.0
７月	—	—	—	—					99.3	△ 5.7	93.3	1.4
８月	—	—	—	—				△ 0.9	—	—	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				㈱百五総合研究所			津財務事務所	三重県政策企画部統計課			

	輸　出 (億円)		輸　入 (億円)		貨物車販売 普通＋小型(新車登録台数)		軽（新車販売台数）		非居住用建築物着工床面積		企業倒産　*4	
	*3	前年比	*3	前年比	(台)	前年比	(台)	前年比	(㎡)	前年比	件数 (件)	負債額 (百万円)
2020年	7,723	△ 14.9	11,463	△ 30.9	5,162	△ 14.8	8,107	△ 5.7	773,702	24.4	66	14,125
2021年	9,094	17.8	16,061	40.1	5,406	4.7	8,064	△ 0.5	782,678	1.2	72	10,192
2022年	11,034	21.3	26,500	65.0	5,222	△ 3.4	9,111	13.0	786,825	0.5	65	13,716
21年11月	926	22.2	1,695	117.3	422	△ 11.9	675	△ 23.4	48,426	2.8	5	239
12月	1,043	36.8	1,948	99.6	385	△ 11.5	574	△ 11.4	188,982	△ 10.1	7	892
22年１月	836	23.2	1,629	60.4	411	20.5	688	1.0	53,536	101.1	2	860
２月	865	32.7	1,946	52.4	404	△ 16.5	838	10.3	62,322	△ 15.4	5	670
３月	940	27.4	1,742	38.2	609	△ 8.3	953	0.4	35,592	△ 22.3	7	538
４月	898	18.5	2,282	78.3	421	△ 5.4	737	△ 1.9	164,841	157.9	5	541
５月	939	54.2	2,153	94.5	375	2.5	531	△ 22.3	46,444	△ 9.9	5	3,542
６月	939	16.9	2,141	126.8	457	△ 4.4	624	△ 12.0	49,353	△ 36.7	5	168
７月	962	31.0	2,340	125.9	367	△ 23.9	725	△ 3.7	125,027	67.3	6	417
８月	903	48.6	2,986	79.5	339	△ 26.5	680	15.4	57,558	66.5	2	277
９月	1,040	46.3	2,682	76.7	447	△ 9.5	914	83.5	25,917	△ 39.2	6	1,285
10月	1,000	19.7	2,230	70.0	435	13.3	877	98.4	76,852	42.7	9	3,229
11月	886	△ 4.3	2,002	18.1	466	10.4	897	32.9	54,709	13.0	6	774
12月	828	△ 20.6	2,364	21.3	491	27.5	647	12.7	34,674	△ 81.7	7	1,415
23年１月	787	△ 5.8	2,180	33.8	347	△ 15.6	755	9.7	52,591	△ 1.8	11	1,210
２月	733	△ 15.2	2,106	8.2	454	12.4	795	△ 5.1	58,219	△ 6.6	14	1,045
３月	835	△ 11.2	2,284	31.1	558	△ 8.4	892	△ 6.4	39,758	11.7	14	1,235
４月	775	△ 13.6	2,024	△ 11.3	322	△ 23.5	753	2.2	62,491	△ 62.1	3	832
５月	795	△ 15.3	1,637	△ 24.0	346	△ 7.7	582	9.6	56,953	22.6	7	980
６月	948	1.0	r 1,731	△ 19.2	466	2.0	557	△ 10.7	59,112	19.8	12	662
７月	937	△ 2.6	r 1,668	△ 28.7	394	7.4	553	△ 23.7	45,619	△ 63.5	16	916
８月	p 961	6.4	p 1,938	△ 35.1	429	26.5	644	△ 5.3	—	—	4	150
資料出所	四日市税関支署(四日市港、津港の合計)				三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		国土交通省		㈱東京商工リサーチ	

	常用雇用指数　*5 調査産業計 (2020年=100)	前年比	製造業 (2020年=100)	前年比	有効 求人倍率 *1*2 (倍)	求人数 *6 (人)	前年比	求職者数 *6 (人)	前年比	新規求人倍率 *1*2 (倍)	名目賃金指数　*5 (現金給与総額) (2020年=100)	前年比 *11
2020年	100.0	0.8	100.0	0.6	1.16	28,953	△ 23.4	24,984	9.5	1.87	100.0	△ 1.0
2021年	100.7	0.7	96.7	△ 3.3	1.20	30,173	4.2	25,133	0.6	2.02	101.9	1.9
2022年	100.6	△ 0.1	97.8	1.1	1.39	34,157	13.2	24,514	△ 2.5	2.30	101.2	△ 0.7
21年11月	100.2	0.1	95.4	△ 3.7	1.28	32,862	12.9	24,504	△ 6.1	2.16	93.4	0.2
12月	100.7	△ 0.2	95.2	△ 4.4	1.30	32,914	15.4	23,463	△ 4.2	2.22	175.8	4.0
22年１月	100.0	△ 0.3	97.6	1.2	1.32	34,213	19.1	23,824	△ 1.8	2.23	85.9	0.0
２月	99.9	△ 0.4	97.5	△ 0.1	1.34	34,788	18.7	24,481	△ 1.5	2.28	86.8	2.4
３月	99.0	△ 1.1	97.4	0.2	1.36	35,883	16.7	25,740	△ 2.5	2.32	89.9	1.4
４月	100.8	△ 0.2	97.5	△ 0.9	1.39	34,436	18.8	26,329	△ 4.5	2.32	89.1	2.5
５月	101.0	△ 0.3	97.8	△ 0.5	1.38	33,347	15.6	26,439	△ 1.7	2.29	88.8	3.3
６月	100.1	△ 1.0	97.8	0.4	1.39	33,493	16.1	25,728	△ 1.3	2.29	128.6	△ 2.4
７月	100.6	△ 0.7	98.2	2.0	1.41	32,985	13.0	24,083	△ 1.6	2.39	127.3	△ 1.4
８月	100.8	0.0	98.3	1.8	1.42	33,316	11.0	23,866	△ 2.0	2.35	86.9	△ 2.6
９月	100.6	0.1	98.3	2.3	1.43	33,985	12.5	23,899	△ 0.4	2.33	83.8	△ 1.9
10月	101.2	1.0	98.1	2.6	1.43	34,699	10.3	24,251	△ 2.1	2.27	85.0	△ 1.2
11月	101.1	0.9	97.0	1.7	1.44	35,012	6.5	23,561	△ 3.8	2.29	90.1	△ 3.5
12月	102.4	1.7	97.8	2.7	1.43	33,732	2.5	21,966	△ 6.4	2.36	172.4	△ 1.9
23年１月	101.7	1.7	98.1	0.5	1.41	33,876	△ 1.0	22,151	△ 7.0	2.19	86.3	0.5
２月	101.6	1.7	98.1	0.6	1.41	34,944	0.4	23,590	△ 3.6	2.07	85.7	△ 1.3
３月	101.4	2.4	98.1	0.7	1.34	34,777	△ 3.1	24,999	△ 2.9	2.11	89.6	△ 0.3
４月	103.1	2.3	99.4	1.9	1.33	32,451	△ 5.8	25,841	△ 1.9	2.01	87.5	△ 1.8
５月	103.4	2.4	98.6	0.8	1.31	31,261	△ 6.3	26,234	△ 0.8	2.20	85.8	△ 3.4
６月	103.4	3.3	98.4	0.6	1.29	31,290	△ 6.6	26,038	1.2	2.12	141.6	10.1
７月	—	—	—	—	1.27	30,970	△ 6.1	25,025	3.9	2.00	—	—
８月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				三重労働局職業安定課							

*1 :月別の数値は季節調整済値　*2 :年数値については原指数，前年比　*3 :2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。
*4 :負債額１千万円以上　*5 :事業所規模５人以上　*6 :年数値は年間の月平均　*7 :既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所
*8 :前年(度、同期、同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している
*9 :「家計調査」により津市において調査した世帯（単身者世帯を除く）の1か月間の家計消費の状況（平均）。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。　*10 :官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8	前年比	普通＋小型（新車登録台数）		軽（新車販売台数）		（津市、二人以上の世帯のうち勤労者世帯）	
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11	(百万円)	(既存店)	(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2020年	100.0	△ 13.6	100.0	△ 25.5	303,980	2.3	44,665	△ 12.7	29,265	△ 9.7	306,464	△ 12.5
2021年	108.6	8.6	119.9	19.8	306,526	△ 0.7	45,510	1.9	28,713	△ 1.9	322,726	5.3
2022年	109.1	0.5	124.9	4.2	—	1.0	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	308,219	△ 4.5
21年11月	117.7	4.3	133.7	17.9	25,183	△ 1.4	3,497	△ 16.7	2,265	△ 9.7	352,410	37.4
12月	120.6	8.7	137.4	17.3	29,800	△ 1.6	3,661	△ 4.7	2,055	△ 12.2	325,966	20.0
22年１月	111.5	12.3	126.5	15.4	26,490	0.5	3,486	△ 13.8	2,256	△ 14.9	312,257	22.5
２月	114.4	7.7	134.1	7.5	23,796	1.0	3,727	△ 18.9	2,657	△ 15.3	285,631	△ 12.4
３月	121.2	9.2	135.6	8.7	24,895	1.7	5,488	△ 12.6	3,459	△ 13.4	348,408	△ 31.4
４月	118.3	7.6	131.8	11.9	24,565	0.8	2,936	△ 13.2	2,171	△ 11.6	344,361	5.5
５月	105.8	5.5	115.9	7.3	25,510	△ 0.2	2,660	△ 14.3	1,640	△ 22.1	342,444	18.3
６月	107.7	2.5	121.2	3.5	24,953	△ 1.7	3,089	△ 18.0	2,306	5.6	258,161	△ 32.6
７月	104.8	△ 6.3	124.2	△ 1.0	25,820	1.0	3,418	△ 11.4	2,368	6.3	334,962	18.1
８月	101.9	△ 4.9	122.7	7.6	26,233	1.0	2,868	△ 14.3	1,835	△ 9.4	280,685	△ 5.5
９月	101.9	△ 3.0	117.4	5.1	24,733	△ 0.1	3,797	21.9	2,603	41.7	279,377	14.0
10月	108.7	△ 0.3	120.5	5.7	25,538	2.6	3,497	22.4	2,432	36.6	292,834	4.1
11月	106.7	△ 9.3	127.3	△ 4.8	25,419	1.7	3,704	5.9	2,559	13.0	274,290	△ 22.2
12月	106.7	△ 11.5	122.0	△ 11.2	30,676	3.6	3,389	△ 7.4	2,494	21.4	345,222	5.9
23年１月	106.7	△ 4.3	109.8	△ 13.2	26,787	1.9	3,813	9.4	2,905	28.8	421,638	35.0
２月	97.1	△ 15.1	118.2	△ 11.9	23,849	△ 0.7	4,438	19.1	3,018	13.6	276,418	△ 3.2
３月	103.8	△ 14.4	110.6	△ 18.4	24,812	△ 1.2	6,247	13.8	3,509	1.4	615,722	76.7
４月	100.0	△ 15.5	109.8	△ 16.7	24,862	0.4	3,411	16.2	2,246	3.5	426,728	23.9
５月	91.3	△ 13.7	102.3	△ 11.7	25,641	0.5	3,136	17.9	2,168	32.2	257,310	△ 24.9
６月	94.2	△ 12.5	109.8	△ 9.4	25,048	0.1	3,863	25.1	2,321	0.7	373,956	44.9
７月	—	—	—	—	26,755	2.1	3,909	14.4	2,174	△ 8.2	290,877	△ 13.2
８月	—	—	—	—	—	—	3,476	21.2	2,097	14.3	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	（戸）		（億円）		（津市・生鮮食品を除く総合）		（津市・生鮮食品及びエネルギーを除く総合	
		前年比	*10	前年度比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比
2020年	9,558	△ 5.9	1,777	0.1	100.0	△ 0.2	100.0	0.1
2021年	10,203	6.7	1,815	2.2	99.9	△ 0.1	99.6	△ 0.4
2022年	9,912	△ 2.9	1,945	7.1	102.2	2.3	100.6	0.9
21年11月	919	21.6	70	△ 32.0	99.8	0.1	98.9	△ 1.1
12月	770	△ 3.5	73	12.0	99.8	0.1	98.9	△ 1.2
22年１月	669	△ 17.9	51	△ 6.9	99.7	△ 0.4	98.7	△ 1.9
２月	640	△ 15.5	105	6.0	100.4	0.3	99.1	△ 1.3
３月	954	16.8	232	26.8	100.9	0.5	99.3	△ 1.2
４月	824	△ 10.7	218	△ 2.6	101.6	2.0	100.1	0.5
５月	727	△ 2.2	130	△ 18.1	101.6	1.7	100.0	0.4
６月	1,029	22.8	254	25.4	101.9	1.9	100.3	0.7
７月	1,041	17.9	257	11.4	102.4	2.3	100.8	1.0
８月	1,013	9.5	170	20.1	103.1	3.1	101.4	1.7
９月	857	△ 5.8	214	△ 2.5	103.2	3.5	101.3	2.0
10月	829	△ 8.2	119	9.6	103.8	4.2	101.8	3.0
11月	748	△ 18.6	95	35.3	103.9	4.1	102.0	3.1
12月	581	△ 24.5	72	△ 0.5	104.4	4.6	102.2	3.4
23年１月	747	11.7	38	△ 25.8	104.5	4.8	102.3	3.7
２月	708	10.6	88	△ 16.2	103.8	3.4	102.5	3.5
３月	803	△ 15.8	291	25.5	104.3	3.4	103.1	3.9
４月	725	△ 12.0	193	△ 11.3	104.9	3.2	103.7	3.7
５月	768	5.6	103	△ 20.4	104.7	3.0	103.8	3.8
６月	839	△ 18.5	234	△ 7.9	104.7	2.8	104.0	3.7
７月	752	△ 27.8	161	△ 37.2	105.4	2.9	104.7	3.9
８月	—	—	190	11.9	105.4	2.2	104.7	3.3
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証㈱		総務省統計局			